

令和5年8月4日

厚生労働省

医政局長 榎本 健太郎 殿

公益社団法人 日本看護協会

会長 高橋 弘 枝



新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の「DMAT・DPAT等医療チーム派遣事業」の支援対象期間の延長について

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日より五類感染症に位置づけられ、位置づけ変更に伴う医療提供体制の移行計画策定など、各地域にて対策が進められています。また、同日より、標記事業の支援対象期間は当面令和5年9月末までとされています。

しかし、現在、新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数及び週当たり新規入院患者数の推移が全国的に増加傾向にあります。特に、九州地域では感染の拡大が著しく、沖縄県においては、感染者増加による医療逼迫が生じています。看護師等が感染する中で、医療提供体制を維持するため、都道府県看護協会等による看護師等の派遣が行われています。

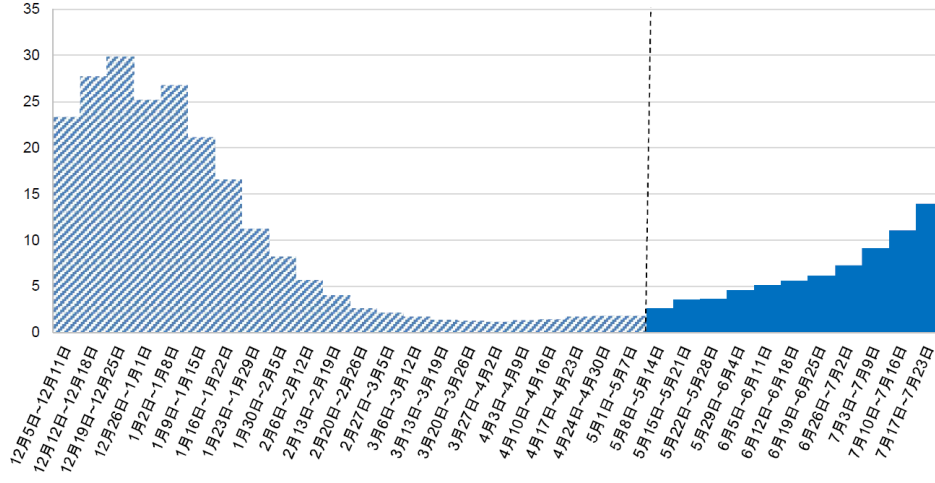
各地域において適切に医療提供体制を確保できるよう引き続き支援が必要であることから、以下のとおり支援対象期間の延長を要望いたします。

要望事項

- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）における「DMAT・DPAT等医療チーム派遣事業」の支援対象期間を令和6年3月末まで延長し、医療提供体制を確保するための看護師等の派遣を支援されたい。

# 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況と医療提供体制の確保の必要性

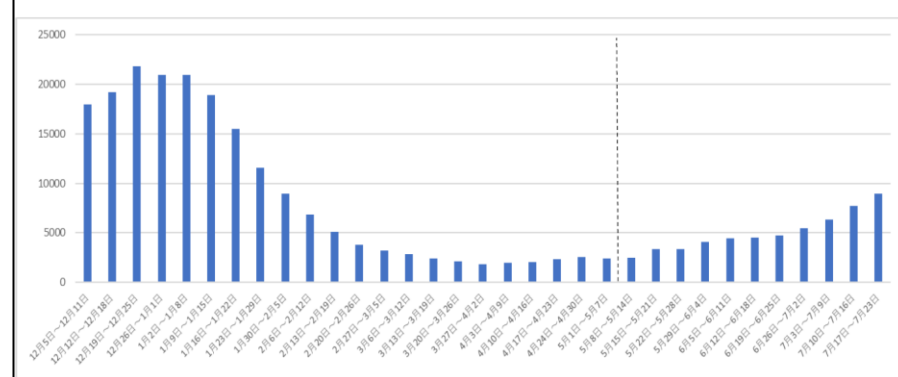
新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数(全国)推移



※5月7日以前の数値は、HER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数(参考値)

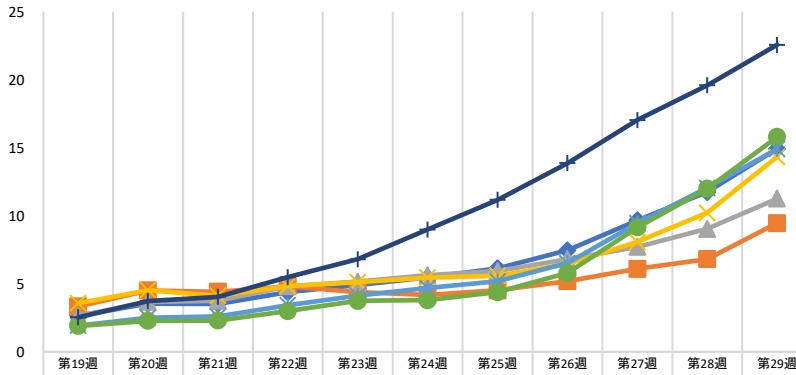
- 新型コロナウイルス感染症の五類移行後、全国的に感染者数、新規入院患者数が増加傾向。

週あたり新規入院患者数推移 (2022年12月5日~2023年7月23日)



出典：医療機関等情報支援システム (G-MIS)

新型コロナウイルス感染症・定点当たり報告数(地区別)推移



	第19週 5/8 ~ 5/14	第20週 5/15 ~ 5/21	第21週 5/22 ~ 5/28	第22週 5/29 ~ 6/4	第23週 6/5 ~ 6/11	第24週 6/12 ~ 6/18	第25週 6/19 ~ 6/25	第26週 6/26 ~ 7/3	第27週 7/3 ~ 7/9	第28週 7/10 ~ 7/16	第29週 7/17 ~ 7/23
● 全国平均	2.65	3.53	3.52	4.38	4.89	5.46	6.14	7.47	9.66	11.74	14.92
■ 北海道・東北地区	3.33	4.51	4.42	4.81	4.39	4.18	4.52	5.20	6.10	6.81	9.46
■ 関東・甲信越地区	2.66	3.66	3.74	4.82	5.16	5.63	5.93	6.81	7.71	9.04	11.26
■ 東海・北陸地区	3.56	4.54	4.11	4.84	5.12	5.45	5.60	6.45	8.07	10.22	14.34
■ 近畿地区	1.92	2.51	2.59	3.43	4.13	4.69	5.18	6.53	9.45	12.05	14.91
■ 中国・四国地区	1.89	2.27	2.30	3.00	3.74	3.80	4.38	5.79	9.15	11.99	15.80
■ 九州地区	2.53	3.74	4.04	5.48	6.81	8.99	11.17	13.87	17.04	19.59	22.57

## 沖縄県における医療従事者の感染者数増加 (医療提供体制の厳しい状況) ※毎日新聞・琉球新報 報道

- 沖縄で感染や濃厚接触などによる医療従事者の休職が相次ぐ、救急外来のある一部の医療機関に感染者が集中\_6/29
- 沖縄県内の重点医療機関8カ所でクラスター発生\_6/30
- 救急救命センターのある医療機関23カ所のうち6カ所が救急搬送の受け入れを制限\_6/30
- 県立八重山病院(石垣市)で医師や看護師、事務員ら28人が感染により出勤できず\_7/12 他

- 特に沖縄をはじめとする九州地区の定点当感染者が急増。他地区でも徐々に増加。沖縄県と同様の医療逼迫状況が全国的に発生する可能性がある。